

# 2022年3月15日 日刊建設工業新聞(九州)

## 最優秀賞に渡邊雪乃さん(九州大)

建築を学ぶ全国の学生の作品の講評を通じて現代建築や都市環境を取り巻く問題を議論し、デザインの可能性とリアリティについて意見交換する「デザインレビュー2022」(主催



最優秀賞に選ばれた渡邊さん(左)

インレビュー2022)が12、13日、福岡市東区の九州産業大学で開かれ、最優秀賞に渡邊雪乃さん(九州大学)の「隠れ里のイマをつなぐー限界集落と支えあう児童養護施設」が選ばれた。デザインレビューは日本建築家協会(JIA)九州支部(松山将勝支部長)が共催、総合資格学院(岸隆司学院長)が記録誌出版を含む特別協賛。本選の司会者に建築家の末光弘和氏、審査員に▽石川初▽大西麻貴▽佐藤淳▽津川恵理▽中山英之の5氏を招き、「創成期」をテーマに開催した。予選を通過した66作品の出版者が12日にポスターセッション

## デザインレビュー2022 JIA九州共催 総合資格学院協賛

ン、13日に予選トーナメントと決勝トーナメントのプレゼンテーションを行い、建築観や作品に対する思いなどを披露した。最優秀賞の渡邊さんは故郷の限界集落の空き家を共有空間で一体化し児童養護施設とし、地域の交流や活性化につなげることを提案した。表彰後、渡邊さんは「自分の人生を表したような作品が評価されたことが最大の喜びです」と話した。優秀賞には小原可南子さん(九州大学)の「Echoin g Nature」、新美志織さん(工学院大学)の「都市を停めるー工事仮設物を用いて更け続ける駐車場」、飯田夢さん(法政大学)の「私小説『家』ーオノマトペを設計手法とした空間化の提案」が選ばれた。渡邊さん、小原さんはJIA賞も受賞した。

審査員らは「皆さんの努力は今後、必ずいろいろなところで力となり発揮される」「悔しい気持ちがある後の原動力となって頑張れたり、勇気付けられるコメントが心の支えになり苦しい時を乗り越えられることがあり」「評価軸に乗らなかった人の中から必ずすごい人が出てくると思う」などと賛辞やエールを送った。

その他の受賞者は次の通り。敬称略。

▽中山賞 饗庭優樹(立命館大学) 佐藤賞 林深音(日本大学) 石川賞 田中由愛(鹿児島大学) 大西賞 後藤夕鯉(広島工業大学) 津川賞 葛谷寧(滋賀県立大学) 谷川賞 高田圭悟(福岡大学)、東英和(九州工業大学)、柴田智帆(九州産業大学)、三舛正順(九州大学)。